第32回 京都市西京まちづくり区民会議 摘録

【日 時】令和5年9月14日(木) 午後2時~午後4時25分

【場 所】京都市西文化会館ウエスティ 2階 第1会議室・第2会議室

【出席者】(敬称略、五十音順、◎議長、○副議長)

青木 祐子 京都信用金庫東桂支店支店長

生嶌 經和 松尾大社宮司

〇井上 学 龍谷大学文学部歴史学科教授

奥野 雅弘 阪急電鉄株式会社 都市交通事業本部 交通プロジェクト推進部長

小田 智英 区民公募

小野寺 由美子 公益財団法人京都高度技術研究所地域産業活性化本部

京都市桂イノベーションセンター事務長

片岡 純治 新林学区自治連合会会長 河原 裕 嵐山東学区自治連合会会長

桑原 尚史 区民公募

◎小石 玖三主 西京区自治連合会会長、西京区交通安全推進会連合会

小原 喜信 大原野自治連合会会長 白須 正 龍谷大学研究フェロー

立花 満利子 西京区社会福祉協議会理事

東條 すえ子 西京少年補導委員会補導副部長

中島 清隆 西京保健協議会連合会会長

松本 治行 西京区体育振興会連合会副会長

三科 卓巳 西京区長

安田 桂子 西京区地域女性連合会会長

山中かおり西京区洛西担当区長山本義博桂学区自治連合会会長

湯浅 文子 西京区民生児童委員会理事

【内容】

1 開会

2 講演

「西京区 景観まちづくりの未来予想図」 講師 藤本 英子 氏(京都市立芸術大学教授)

〈要旨〉

- (1) これまでの西京区での活動
- (2) 景観力とは
 - ・「景観」とは「風景外観、けしき、ながめ、またその美しさ」のことで、美しくなければ景 観ではない。
 - ・地域とそこに暮らす人々の暮らしを景観で変える力を「景観力」と名付けた。

- ・都市計画のような、一瞬では変化しない、時間をかけて変えていく景観の状態がハードの 景観。一瞬で変化し得る、地域の人々の意識がソフトの景観。西京区の自己肯定感を上げ、 ソフト面を意識して、西京区の素晴らしさ、景観力を高めていってほしい。
- (3) 西京区の未来予想図
 - ・多くの魅力を持つ自然・住宅地・研究機関等を連携させて生かしていくことで、今後の 可能性が広がる。転換期こそ良い方向に変わるチャンスだと思う。

3 報告

- (1) 令和5年度の主なまちづくり事業について
- (2) 西京区の人口増減について
- (3) 洛西 "SAIKO" プロジェクトについて

(委員)

洛西 "SAIKO" プロジェクトの中間とりまとめの、京都市立芸術大学跡地の活用は非常に重要なポイントになると思うが、9月から公募プロポーザルが開始されるということで、どういう方向で考えられているのか、何か分かる範囲で今の状況を教えていただきたい。

(事務局)

- ・ 跡地活用については、行財政局で先日第1回の選定委員会が開催され、現在、公募に向けた 募集要項等の策定について検討が進められていると聞いている。幅広い提案を頂戴すべく、で きるだけ制限をつけずに事業者の募集をしたいとのことである。
- ・ 洛西地域、ひいては京都市全体の活性化に寄与するような計画、特に新たな人の呼び込み、 賑わいの創出、雇用の創出など、人口減少と高齢化が進んでいる洛西地域の活性化に寄与する ような視点を踏まえた活用方法を公募することになると聞いている。
- ・ 公募の段階で業種や活用方法など対象を絞るのではなく、できるだけ幅広に提案を求めるというかたちで検討が進められている。

(委員)

企業が入ると雇用が創出され、働く方が洛西地域に住居を持たれる可能性が出てくる。京都市立芸術大学跡地にというわけではないが、熱心な企業に積極的に西京区のまちづくりに関わっていただきたい。

(委員)

洛西 "SAIKO" プロジェクトについて、一般の住民にはどのような伝え方がされているのか。

(事務局)

- ・ 中間とりまとめの策定については、7月27日に市長記者会見で発表させていただき、併せてホームページや市民しんぶん区版9月号1面で周知している。
- ・ 複数回実施したタウンミーティングでも説明させていただき、特にニュータウンに関する部分をまちづくりニュースとして、洛西ニュータウン管内に全戸配布して住民の方に周知してい

る。まちづくりニュースは、ホームページにも掲載、洛西支所での配架もしている。

(委員)

- ・ まちづくりニュースについて、ニュータウンだけの問題ではないため、大枝・桂坂・大原野 エリアにも配布いただきたい。
- ・ 洛西 "SAIKO" プロジェクトは、西京全体の大きな問題であり、ニュータウンだけではなく、 できるだけ全体に分かっていただけるような前向きな周知をお願いしたい。

(委員)

・ まちづくりニュースについては、ニュータウンの都市計画のルールの変更を周知させていた だく目的で始まったため、ニュータウン管内を対象としているが、市民しんぶん等でプロジェ クトについて知り、さらに深く知りたいという御要望があれば、お気軽にお問い合わせ、御意 見等いただければ、必要に応じて説明させていただく。

4 意見交換(人口流動と地域コミュニティの課題と対応策について)

(委員)

- ・ 桂学区は、数十年前から空き地が無く、新しい家が建たない。昔からの住民は高齢化と同時 に、子ども世帯に引き取られて空き家は実際に増えてきている。
- ・ また、若い人が子どもを2人も生まなくなってきていると感じる。桂小学校のクラスが以前は1学年3クラスだったが、この10年以上はかろうじて2クラスである。
- ・ 令和2年の4月に川西住宅で65世帯、約130人の転出があったことが桂学区の人口統計の数字に表れていると思われる。

(委員)

- ・ 嵐山東学区も人口減少の傾向ではあるが、田んぼのほとんどは宅地に開発されている。
- ・ 大きな開発はできず、人口は減少傾向にはあるが、嵐山ブランドという力がある。松尾大社 にも色々御協力いただいている。
- ・ 嵐山地域は山と川に挟まれ、線状降水帯等、災害の不安はあり、防災面は気を引き締めてい きたい。
- 高齢者向けの集合住宅とは、町内と連携していざというときに助け合えるような契約をしている。

(委員)

洛西ニュータウンの地域は人口が減る一方だが、洛西 "SAIKO" プロジェクトや芸大跡地活用 等、ニュータウンが再生し、西京区の活性化に貢献できるよう、我々も力を尽くして活動しなければならないと思っている。

(委員)

・ 京都西山・大原野保勝会や大原野地域ブランド戦略といった活動もしている。色々な事業で 大原野の地域を皆様に知っていただきたいという思いで活動している。阪急電鉄にもお世話に なっており、より西山を全国に広めたいという思いでいる。

- ・ 大原野は豊かな自然が利点だが、市街化調整区域で土地利用の規制があり、どうしたら人を 呼び込めるか課題に思っている。小学校は今年の入学が 21 名と、組替えができない状況であ る。何とかして人口を増やす方向に持っていきたい。
- ・ 大原野の野菜は生産者が高齢化しており、農業に関しては先細りしている。道の駅構想もあったが、乙訓地域と一緒になって、大きな夢を夢で終わらせずに実現させていきたい。
- ・ なお、人口のデータについては、減少の人数だけではなく、比較できるよう、分母も併記していただけると有難い。

(委員)

- ・ 令和2年から4年にかけて、人口が増えなかった理由に住宅の設備の高騰があると思う。建 売業者が建売住宅を販売できず、空き地にコインパーキングができたりしていたが、最近はコ インパーキングを潰して家に建て替える流れも出てきたため、人口減少も歯止めがかかるので はないか。
- ・ 桂川街道や新山陰街道に面した学区等、交通の便が良い場所は人口減少が少し留まっている 感想をもっている。

(委員)

- ・ 高齢者はコロナ禍で外出をしないよう宣伝され、それがいまだに身に沁みついてしまい、外 に出ることが難しくなっており、孤立していると日々感じている。
- ・ 高齢者になるべく外に出てきてほしいという思いで我々も様々な活動をしているが、コロナ 前の参加者も元に戻らず、難しい。孤立する人が増えると、気力体力が落ち、要介護者が増え るのではないかと心配している。
- ・ 桂学区に関しては、人口が減って寂しい状況ではあるが、PTA 加入率が 100%と聞き、安心する面もある。人口が増えている地域でも自治会や PTA の加入率が低い、地域のつながりが希薄ということも聞く。
- ・ 世代間の交流は非常に重要で、人口が減っても、人と人とのつながりが保たれる社会であってほしいと思う。

(委員)

- ・ 体育振興会連合会としては、西京区は他区と比べて活発に活動をしていると思うが、自治会 加入率が低い。桂川では 1,250 世帯しか入っておらず、40%を切っている。活動をするにして も参加が少ないというのは困った問題で、良い案がないかと考えている。
- ・ 体育振興会としては、コロナ後も全て活動させていただいており、皆様の御協力を得て益々 発展していきたいと思っているので、よろしくお願いしたい。

(委員)

- ・ 空き家に関する平成 29 年の京都市の資料を読んでいたが、物価高が続く中で、空き家の活 用に着目していく必要がある。毎年市のチラシが刷られているが、回覧板で見たことがない。
- ・ 他都市への流出が増えているが、隣の亀岡市のホームページでは移住者のインタビューが載

っている。メディアを活用し、複合的に上手く PR していく必要がある。

・ 東京や京都、北海道の町家等の不動産も外国資本に買われており、今ある環境を上手く利用 していく方法を皆で考えていくタイミングではないかと思う。空き家を改装して安価に提供す ることで、人口を戻せるのではないかと思っている。

(委員)

- ・ 洛西ニュータウンは、当初地下鉄ができるという話で壮年期の方が移り住んだ。その方々が 今は80代になられ、ニュータウンの高齢化につながっている。また、子どもや孫は他地域に 引っ越している。
- ・ 主要な公共交通機関がバスであるというのが一つの大きな原因である。桂川駅や洛西口駅の 周辺はマンション建設で世帯数や若い人の入居が増えており、駅があればかなり人口流入につ ながる。
- ・ 京都観光に来られる方や外の方が魅力を感じなければ人口増や地域発展は難しい。今持って いる宝をどのように活かすかを考えていきたいと思っている。

(委員)

夏休み、冬休みにパトロールなど、子どもたちに学校の中で楽しい思い出をつくってもらえるように活動している。

(委員)

- ・ 藤本先生のお話を聞いて、自転車のルールについて改めて考えることができた。
- ・ 洛西の取組を聞き、ますます洛西が素晴らしい街になることを期待している。

(委員)

- ・ 神社は地域コミュニティのつながりと深い関わりがある。歴史を辿れば、人が共同体を作り、 その中心に神社を立てた。当社は大宝元年が起源であり、平安京の発展に寄与し、東の賀茂、 西の松尾とも呼ばれた。
- ・ 東のにぎわいを西に持ってきたいという思いで、農業まつり等の取組を進めている。歴史と 伝統文化を踏まえて、未来を考えていければ有難いと思っている。

(委員)

- ・ 20 年ほど前に洛西ロ駅新設の企画段階から関わってきた。15 年ほど前には嵐山駅前の広場の整備もした。TauT については、全国的にも地域の皆様と共に作り上げた高架下というのは珍しく、これからも地域のために使っていきたい。
- ・ 嵐山駅は放置自転車を一掃し、地域のために何ができるかを考える段階まで来た。広域観光 によるオーバーツーリズムの解消、戸建て住宅の住宅地との環境の調和等もあり、地域の皆様 と一緒に取組んでいきたい。
- ・ 洛西口駅の乗降客数は向日市の人口増の影響もあるが、コロナ前の水準に最近は戻ってきた。 桂駅の乗降客数はコロナ前から微減傾向。上桂駅、松尾大社駅はコロナ前の10%減くらいまで 戻っている。住民の方と観光客の方との相関については調べられていないが、嵐山駅もコロナ

前の15%減くらいまで戻ってきた。今後も行楽シーズンで増えていくと思われる。(委員)

- ・ 西京区は様々な取組をされているのが良いと思う。産業面では、桂イノベーションパークは 非常に期待されているが、用地が無いため、用地の創出を考えていただきたい。
- ・ 芸大は企業が集まるには少し距離があるので、桂イノベーションパークが活性化すれば、連携して相乗効果があると思う。
- ・ 京都市から転出しようとする若い子育て世帯を受け止めていく、受け皿を目指していってほ しい。京都市民の間にも西京区の魅力をもっと広めていければ、より効果が出るのではないか と思う。

(委員)

- ・ 京都信用金庫東桂支店は川岡、川岡東学区の区域にあり、個人のお客様が多い。また、地域 の活動が活発なところだと思っている。
- ・ 東桂支店に来て驚いたのは、90歳代の方がとても元気なことである。若い方にも入って来て ほしいのはもちろんであるが、高齢者の方が元気なのは、若い方にとってのモデルケースにな り、ずっと西京区に住みたいと思うことにつながる。高齢者が直面している問題は多く、何か 力になれないかという思いで日々過ごしている。
- ・ 個々の力のポテンシャルが高い、お客様同士をつなげるのも地域のためには必要なので、世 代間を超えたつながりを創出できたらいい。

(委員)

- ・ 人口減については日本全体の問題であり、女性が子育てしながら働き続けられる環境を早期 につくれなかった国の責任だと思う。
- ・ 下京区や中京区の街中は人口が増えている。若い人は便利なところに行く。在宅ワークの進行で亀岡に移る人もいる。
- ・ 西京区の住宅価格は、市内中心部よりは安いが、周辺(亀岡、向日市)よりは高い。また、 洛西ニュータウンの賃貸物件は、リフォームされているといっても、エレベーターやペアガラ スなど、今の若い人が当たり前だと思っている設備が無い。建て替えがある際は、屋上庭園や 保育園、Wi-Fi など、最先端の環境を整備してほしい。
- ・ 芸大跡地については、スタートアップ企業が入れるようなインキュベーション施設になって、 より産業が発展していけたら良いと思っている。

(委員)

- ・ 地域と社会がどう一緒に発展していくかという観点では、もっと地域企業と連携していけた らいいのではないか。直接人口を増やす施策にはならなくても、次世代の人を作っていくこと につながる。
- ・ 京都中小企業家同友会でも去年、大枝中学で出前授業をした。自社のリソースを活かして未 来をつくるという活動をしたいという企業は多いと思う。面白い、ワクワクするといった楽し みながらやる気持ちや共感を生むしくみでやっていけたらと思う。

(委員)

- ・ 人口減少自体は仕方ないかと思っているが、空き家の問題は重要である。桂坂全体で空き家は3%、113件、全国の13%に比べたら低いが、数としては多く感じる。
- ・ 京都市ではやっていないが、親世代と近距離に住むと補助があるところもある。神戸市もやっている。近距離に住むと、子育てや介護で便利な面がある。
- ・ 桂坂景観まちづくり協議会が、かつて国交省後援の住まいのまちなみコンクールで3位を頂いたことにより、すまいのまちなかネットワークの総会に出席しているが、数年前に1位だった千葉県の柏ビレッジを先日訪問した。柏ビレッジでは高齢化率が60%を超えており、空き家の調査を毎年やっているそうで、やはり空き家問題は重要だと思う。

(委員)

- ・ 2018 年から 2022 年の 5 年間で 0 歳児から 5 歳児の移動を調べると、増えているのは左京区 と北区のみで他区は減少している。西京区は 380 人減っている。
- ・ 西京区にどこから来たかを調べると、南区と右京区から来ており、亀岡と向日市、右京区に 出ている。減少してはいるが、他所からきていただけるのが西京区の特徴で、悲観だけではな いということをお伝えしたい。
- ・ 空き家に規制をかけて民泊を防ぐ、また、2,000 万円台~3,000 万円台前半の物件にならないと若者は買えない。本気でローンを組んでもらうには、お試し暮らしの機会を提供する等も必要である。
- 高齢化が進んでいるにも関わらず、若い人のことを考えているのが西京区の財産である。これも活かして洛西 "SAIKO" プロジェクトが進むことを期待する。

(委員)

- ・ 桂駅周辺もかなりの空き家があり驚いているが、なぜそうなったかを十分考えないといけない。今の生活は、両親が共働きだと女性が大変な思いをする。母親の仕事との両立に便利なところに移り住む傾向がある。西京区は働く場所が少ないので、それを考えていく必要がある。
- 中国でも一人っ子政策で大変になっているが、同じ轍を踏まないように、西京区も考えていきたい。

4 閉会